

# 観光地に栃木の味PR 光

## 39企業・団体が商談会 日

県内の食や農に関わる企業・団体が組織するフードバレーとちぎ推進協議会と県は13日、日光市鬼怒川温泉大原のきぬ川ホテル三日月で、フードバレーとちぎ観光地商談会を開いた。

会員企業が製造した加工食品や農畜産物を県内の旅館、ホテル、物産店に業務

用、土産物として扱ってもらい、販路開拓や拡大を目指す。さらに県内外へ県産

品の情報発信につなげるのが狙い。

この日は39の会員企業・団体がブースを設置し、宿泊施設や観光地、道の駅などのバイヤー約310人に実物を見せたり、試食を勧めたりしながら、自



観光地のバイヤーらに商品をPRするフードバレーの商談会。13日午前、日光市内

慢の商品をアピールした。後半は一般開放され、同ホテルの宿泊客らも「栃木の味」を楽しんだ。しいたけチップスやレトルトなどの商品を並べた北研（壬生町）の鈴木徹也新事業開発室販売課長は「地元産の食材として観光地で

扱ってもらいたいというの  
はもちろん、業者同士のマ  
ツチングも期待できる」と  
話していた。  
(石幡愛)